

夢

を持ち
を育み
を叶える

～大津町学校教育ビジョン基本理念～

Murofessional 2nd ～勇気～

(むろふえっしょなる セカンド)
vol.10

R 3.1 2.2 3 文責：村田典子

夢キラ学習発表会でしめくる

伝える力・受け容れる力を育てる

今年の「夢キラ学習発表会」の取組を通して高めたい資質能力は、表題の二つ。

＊伝える力…言語意識を持って自分の思いや考えを表現する

＊受け容れる力…人の話を聴き、自分と異なる意見や考えであっても否定せず、受け止める・出会う人々の様々な個性や考えを認めながら、自他の良さを生かそうとする。

本番の発表場面だけではなく、これを作り上げていく過程において、どうすればうまく伝わるかの様々な工夫、脚本や劇、プレゼンの構成を考える際の友だちとの意見交換や協働作業等、多くの学びがあったのではないかと思います。(上写真：4年生)

実行委員長と保護者の方の感想を紹介します。

★実行委員長：権藤陽向さん

実行委員長として、夢キラ学習発表会を自分たちの手でつくる経験をして、自分たちの意見が学校行事に反映されることに大きな喜びを感じることができ、貴重な経験ができました。また、実行委員長として、大きな責任を持って活動することができました。本番は、自分たちが思い描くような夢キラ学習発表会にすることができました。これらの経験を中学校でも生かしていこうと思いました。

★保護者の方からの感想(1年生)

一人一人がしっかりと自分の役割を覚えて大きな声で発表できていてとても感動しました。みんなキラキラしていてかっこ良かったです！家でも音読を頑張っていた成果が出たね！また次の機会を楽しみにしています。

おうちの方の感想にもあるように、学習発表は日頃からの学習の積み重ね。9ヶ月間の学びの成果です。多くの方にご参観いただき、満足感いっぱいの子供たちでした。

●ご感想等へのご協力をお願いします

今年は、運動会に引き続き、初の夢キラ発表会実行委員会を立ち上げ、児童会が企画と運営に参画しました。プログラムの作成、進行や幕あいのインタビュー等、子供たちがたくさん動いてくれました。今年の発表会について、是非皆さんのご感想等をお聞きたいということで、実行委員会からアンケート調査をお願いしています。子供たちが、自主的にタブレットで作成したものです。本当に、すごい子供たちです！次年度さらにより発表会につなげるために、お忙しい中ですが、是非ご協力をお願いします。

待ちに待った冬休み

この冬休みに伸ばしてほしい力は、①「参画する力」②「自己管理力」の二つ。具体的には、①おうちのお仕事(掃除、茶碗洗い等々)への貢献と毎日何かを続けること ②守ってほしい三つのこと(命・生活リズム・学習用パソコンの使用ルール)に取り組んでほしいと思います。わくわくするイベントの多い冬休みです。楽しさの中にも規律ある生活について、ご家庭でもご指導をお願い致します。

【お知らせ】

冬期休業期間における新型コロナウイルス感染症に関する対応について

休業期間中に、お子さんや同居のご家族等が

①PCR検査等を行う場合 ②陽性と判定された場合 ③感染者の濃厚接触者に特定された場合

は、速やかに電話やバスキャッチ(課業日以外)にて連絡をお願いします。オミクロン株の流行も気になります。引き続き、感染予防の徹底をお願い致します。

“3回努力”

…平井孝明氏人権講話

12月16日(木)3校時、5年生対象に、2020東京パラリンピック視覚障害柔道日本代表選手として出場した、平井孝明選手(熊本県立盲学校勤務)による講演会を開催しました。

演題は、「差別や障がいには負けず、強い意志を貫いてつかんだ夢」。平井選手が、表題のように「人より3回多くやる」という努力を続け、多くの人に支えながら、国際大会等の入賞やオリンピック出場を勝ち取った軌跡を、国際大会等の映像混じりに聴くことができました。

最後に伝えたい三つのこととして

①失われたものを数えるな、残されたものを最大限に生かせ

②継続は力なり

③周りの方への感謝

というメッセージをいただきました。

特に、①は、パラリンピックを創設したルードヴィヒ・グッドマン博士の有名な言葉なのだそうです。恥ずかしながら、初めて耳にしました。視覚障害を持ちながら、まさに強い意志で、たくさんの努力で夢を勝ち取った平井選手は、とても謙虚で誠実な方でした。講演後の組み手でも、**Japan**

のゼッケンの道着を着せてくださり、自らが投げられるように動いておられる優しさ…。温かく素敵な思い出をくださいました。

(左写真：江藤先生
(右側)との組み手)



